

令和4年度地域再生セミナー
「持続可能な地域づくり ～地域の担い手の創出とデジタル化の推進～」

<開催のご案内>

講 師	[講演 1]	大久保 昌宏 氏（特定非営利活動法人離島経済新聞社 副理事長） テーマ：仲間を生み出し、地域の未来をつなぐ場づくり
	[講演 2]	本田 勝之助 氏（本田屋本店有限会社 代表取締役社長） テーマ：地域のデジタル化は共助縁側社会づくり

開催日時	2022年11月9日（水） 13:30～16:00
開催場所	ZOOMによるオンライン形式
参加費	無 料
主 催	一般財団法人地域総合整備財団
共 催	長崎県

【セミナー概要】

現在、多くの地域が、人口減少・高齢化によって、地域づくりの担い手不足という課題に直面しています。こうした課題に対し、関係人口と呼ばれる地域外からの新しい人の流れが地域の担い手として期待されてきています。また、デジタルの力で地域が抱える課題を解決し、心豊かな暮らしを実現していこうとする地域のデジタル化の流れも加速してきています。

本セミナーでは、その現状を知り、地域づくりの方策の一助としていただくため、「地域の担い手」・「地域のデジタル化」に着目し、特定非営利活動法人離島経済新聞社の大久保昌宏氏と本田屋本店有限会社の本田勝之助氏をお招きし、それぞれのテーマをご自身の経験を踏まえ、講演していただきます。

【次 第】

13:30	開会挨拶	（一財）地域総合整備財団理事長 末宗 徹郎 氏
13:35	講演 1	テーマ：仲間を生み出し、地域の未来をつなぐ場づくり 大久保 昌宏 氏（特定非営利活動法人離島経済新聞社 副理事長）
14:30	休憩	～ 5 分間 ～
14:35	講演 2	テーマ：地域のデジタル化は共助縁側社会づくり 本田 勝之助 氏（本田屋本店有限会社 代表取締役社長）
15:30	地域総合整備財団からのご案内	
15:50	質疑応答	
16:00	閉会	

<講演 1>

大久保 昌宏 氏 特定非営利活動法人離島経済新聞社 副理事長

演題：「仲間を生み出し、地域の未来をつなぐ場づくり」

- 大学卒業後、広告制作会社等を経て、2010年株式会社離島経済新聞社を設立し、取締役役に就任。2014年特定非営利活動法人化に伴い事務局長就任。2015年より代表理事に就任。2021年に代表理事退任・副理事長就任。
- 事業ディレクターとしてコミュニティデザインやエリアマネジメント支援、各種計画策定やプロモーション、教育・人材育成、コミュニケーションサポート等を担当。
- 2015年から利尻町での離島経済新聞社としての活動を通じて体感した地域の可能性や、未来を担っていける地域プレーヤーをさらに増やしていくために、自分自身がその1人になることを選択。
- 北海道利尻町に拠点を移し、一般社団法人ツギノバを設立。町と連携しながら、利尻町定住移住支援センターツギノバの運営や定住移住相談、企業誘致支援、起業・創業・継業支援などに取り組んでいる。

【主な経歴】

- ・総務省地域資源・事業化支援アドバイザー
- ・内閣府特定有人国境離島プロジェクト推進アドバイザー
- ・東京島嶼地域活性化実現会議コーディネーター
- ・鹿児島県知名町総合振興計画策定アドバイザー
- ・一般社団法人ツギノバ 代表理事



<講演 2>

本田 勝之助 氏 本田屋本店有限公司 代表取締役社長

演題：「地域のデジタル化は共助縁側社会づくり」

- 大正時代から続く会津の青果問屋の四代目。現在はブランド米を手掛ける米問屋でもあり、金田中や銀座久兵衛など名店に扱われ、地域商社として1,000の地域商品の問屋として全国に販路先を広げている。
- 伝統工芸や農業・食、観光、IoT 活用になど地域多領域を戦略的にプロデュースするのが特徴。
- 3.11 直後、会津へのアクセントリア社の誘致と以降のスマートシティ推進を政府各省庁・国内外の大手企業やベンチャーと協業しつつ、その代表企業として推進している。また、その実績から多くの自治体のスマートシティ推進のアドバイスや調査提案・企業誘致や地元における体制づくりなどもサポートしている。
- 全国の原発立地地域約20地域、100地域以上の日本遺産認定地域の統括プロデューサーとして担当プロデューサーやクリエイター、コンサルタントなどをプロジェクトチームとしてまとめ事業推進している。

【主な経歴】

- ・文化庁日本遺産統括プロデューサー
- ・内閣府クールジャパン地域プロデューサー
- ・会津地域スマートシティ推進協議会事務局長
- ・一般社団法人 dialogue (Japan Workation Academy) 専務理事
- ・内閣府地域活性化伝道師

